

第4回「新しい学校づくり三好市・東みよし町地域協議会」における意見整理

- ・ 日 時 平成20年2月22日(金)午後6時30分から午後9時まで
- ・ 場 所 辻高等学校 研修会館
- ・ 議 題 新しい学校の教育について

(1) 総合選択制について

- ・ 1つの学校になるのであれば、総合選択制は普通科の中だけでの選択制でなく、農業科も含めた総合選択制が可能ではないか。統合した学校としての教育を考えて欲しい。
- ・ 農業科でも企業的な農業をやりたいという生徒がいれば、商業的なことを学ぶ必要もでてくるし、資格取得にも絡んでくる。大学科の枠を越えた総合選択制を考える必要があるのではないか。

(2) 設置学科・コースについて

- ・ 三好高校農業科は特色ある学校づくりが定着してきている。再編統合されても特色ある教育をすべきである。
- ・ 普通科の教育内容は、どうしても漠然としてくるのも理解できるが、総合文理コース以外の3コースは目標が明確でない気がする。
- ・ 教養実践コースについて、教育内容に明確な目標を掲げることが必要だと思う。
- ・ 「総合文理」、「健康福祉」、「情報ビジネス」の各コースには明確な内容がある。例えば初級アドミニストレータ(国家試験)等の合格実績のある三好の商業科を引き継ぐ「情報ビジネス」コースには専門性がある。
- ・ 教養実践コースは、目標がない生徒が集まるコースであるイメージがあるが、目標を明確にしたコースと、目標の漠然としたコースの両方を設置する必要もあるのではないか。「教養実践」コースこそ不思議な魅力のあるコースにしたいし、学校づくりの核にできたらと思う。

- ・ 総合文理コースと池田高校が，中学生の取り合いになる心配があるので，教養実践コースを，総合文理コースの中に組み入れられないか。
- ・ 統合された新高校については，1年生では一緒に授業を受けて，自分にあった適切なコースを見つけ，2・3年生で分かれていくのが良いのではないか。
- ・ 農業がおもしろいと感じる子どもを育てるには，1年生で一緒に学んで，2年生から専門に分かれるのでは難しいと思う。

(3) 学校間連携について

- ・ 1つの学校になるメリットを考えていく必要がある。三好高校の進学希望の生徒が，辻高校の放課後補習に参加したり，部活動と一緒に取り組んでいくなど，可能な限り連携していく必要がある。